

ふじがわ

町のメモ

昭和60年12月1日現在
 人口 16,967人
 増減 +12人
 男 8,357人
 女 8,610人
 世帯数 4,395世帯
 面積 31.09km²

富士川町 総務課

12月号 昭和60年12月5日発行 No. 293



すばやく
 火の始末を!

（右下町防災訓練）

町のことしの目標
 「笑顔であいさつ明るい町に」

おもな内容

- 2～3ページ 中央公民館落成を祝う
- 4～5 町のわだい
- 6～7 広報ディスカッション
「一年を振り返って」
- 8～9 ママさん記者が取材中
フォーク村「てんとう虫」
まちの昔ばなし伝説
- 10 戸籍の窓、お母さんの知恵袋、短歌会

富士川町民憲章

1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって郷土のためにつくしましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで豊かな町にいたしましょう。
1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて明るい家庭をきずきましょう。
1. わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて住みよい社会をつくりましょう。
1. わたくしたちは、創造と努力によって町の未来をひらきましょう。

落成を祝う 町民文化祭が盛大に

町民文化の殿堂として、昨年10月から建設を進めてきた中央公民館が、11月3日午前8時、常葉雅文町長・佐野喜平議長・金指恭三教育委員長の手によってテープカットされ、希望に満ちた新しい門出をしました。

引き続き、午前9時30分から名譽町民の斉藤頼夫氏など約五百人がお祝いにかつけ、ホールで盛大に落成記念式典が行われました。

生ぶ声を上げたばかりの同館で、さっそく町民文化祭が開催され、多目的室や研修室・会議室では、書・写真・工芸など町民の一年間の力作が展示され、また、ホールでは、民謡・舞踊・楽器演奏など日ごろの練習成果が発表され、玄関前広場では、町内の官公署や各種団体などのバザーや模擬店などが出店し、各会場とも終日見学者などで大にぎわいでした。



▶テープカットする町長(中央)・議長(右)教育委員長(左)
▼記念式典で旭町のみなさんが祇園ばやしを披露



中央公民館 記念式典

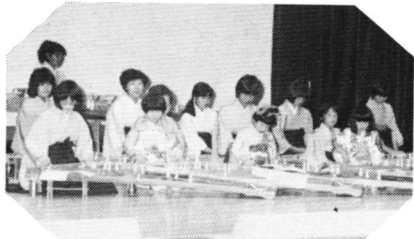


広場は見学者でいっぱい

▼作品に見入る見学者



◀見学のあいまにロビーでちょっと一息



▲演奏中の出演者



町民文化祭記念式典表彰者(敬称略)

- 教育文化功勞 多額寄付者
- | | |
|--------------|--------------|
| 清 堅司 (小 池) | 野田 力三 (東京都) |
| 錦織 文枝 (富士見町) | 齋藤 頼夫 (東京都) |
| 遠藤 裕子 (芝川町) | 秀村 敏朗 (俣下町) |
| 治安維持功勞 | 花田 勝 (蒲原町) |
| 加茂 徳平 (本通一) | 芦川 靈衛 (木 島) |
| 自治功勞 | 小永井邦子 (川 坂) |
| 大木 靖也 (四十九町) | 故堀江喜一 (富士宮市) |
| 望月 晋 (大北町) | 富士川町婦人会 |
| 丸山 博康 (木 島) | |

自主防災組織ごと 真剣に防災訓練を実施

いつ起こるか分からない「東海大地震にそなえ、9月1日町内の官公署などが参加し「広域防災訓練」が、また、11月10日には町内各區で「地域防災訓練」が行われました。

地域防災訓練では、各区の自主防災組織ごと実情にそくした防護、出火防止、消火栓の点検、炊き出し、情報伝達などの訓練を区民一体となり、真剣に行いました。

日曜日に実施されたこともあり、町民の関心は高く、小・中学生をはじめ約五百人のみなさんが参加しました。

両日の防災訓練ではたいした混乱もなく無事終了しました

が、地震発生時における心構え

- 火が出たらまず消火
- あわてて戸外に飛び出すな
- 狭い道路やへいぎわ、がけ、川べりに近寄らない
- 山崩れ、がけ崩れ、浸水に注意
- 避難は徒歩で、持ち物は最少限に
- 協力し合って応急救護
- 正しい情報をつかみ、余震を恐れるな
- 秩序を守り、衛生に注意

交通安全教育の 実践活動・研究成果を発表

昭和59・60年度、県教育委員会から交通安全教育の地域指定を受けた第一・二幼稚園、第一・二小中学校が、10月29日第一小学校体育館で、当日出席した中、部管内の小中学校の先生約五百人に、日ごろの交通安全教育の

実践活動や研究成果を発表しました。

この地域指定は、学校での毎日の、当り前の基本的習慣が乱れていたり、整理や整頓をはじめ環境が乱れた状態などであったら、いくら熱心に交通安全教

商工会法施行二十五周年記念 「町商工会記念式典」が盛大に

11月10日中央公民館で、商工会法施行二十五周年を記念して町商工会主催(斉藤久男会長・会員三百八十三人)の「富士川町商工会記念式典」が盛大に行われました。

この式典は、地域の経済発展のために尽くされた功労者の功績をたたえようと、会員の総意を結集して、当面する重要課題の解決を図ることなどを目的として行われ、斉藤会長あいさつの後、長年にわたり同会の役員として会の発展や地域中小企業発展のためにつくされてきたみなさんに、常葉町長・斉藤会長から表彰状が贈られました。同時に、10月22日行われた県商工連合大会で、優良商工会として県知事表彰を受けた町商工会や県連合会長表彰を受けた彰された石川武雄(俣下町)・望月貞彦(坂下)・望月勝年(清水四)

- 全教育を推進することを研究主題として取り組んできました。
- 当日、まず一小で研究の概要が説明され、その後、一幼、一小、一中の三会場で分科会が開かれ、活動状況が発表されました。
- 全教育を推進することを研究主題として取り組んできました。
- 当日、まず一小で研究の概要が説明され、その後、一幼、一小、一中の三会場で分科会が開かれ、活動状況が発表されました。
- 式典で表彰されたみなさんは次のとおりです。(敬称略)
- 富士川町長表彰
 - 斉藤 久男(東町二) ◇小永井一雄(本通三) ◇望月貞彦(坂下) ◇望月勝年(清水町) ◇望月 貢(本通三) ◇井出 稔(南町(本通三)) ◇桐谷 静子(本通三)
 - 商工会長表彰
 - 望月 貞彦(坂下) ◇望月勝年(清水町) ◇望月 貢(本通三) ◇井出 稔(南町(本通三)) ◇桐谷 静子(本通三)
 - ◇望月 録(本通二) ◇斉藤きの江(坂下) ◇斉藤 今子(旭町) ◇坪内千恵子(本通四)

芦沢美之作氏が 勲五等双光旭日章を受章



芦沢美之作氏
(80)
(新町)

昭和60年秋の生存者叙勲で、当町の芦沢美之作氏が、長年にわたる地方行政分野での功績により勲五等双光旭日章を受章されました。

道路整備促進などを決議 「郡町議会議員大会」



開催風景

富士川・蒲原・由比の三町に共通した行政課題の実現や各町議員の交流を深めることなどを目的として、三町の議員や来賓など約七十人が出席し、11月8日中央公民館で「第三十回庵原郡町議会議員大会」が行われました。

大会では、まず佐野喜平会長から長年会の発展に尽くされた十二人の議員や三人の前議事事務局長に感謝状が贈られました。引き続き議事に移り、公共道路改良事業町道上町小山線の早期実現についてなど三議案を審議し採択した後、行政改革の合理的推進・町村財政の充実強

お年寄りの長寿と健康を祝う

「第五十四回敬老会」で

七十歳以上のお年寄りの長寿と健康をお祝いするとともに、今日までつちかっできた長年の知識や経験などを今後町の発展に一層役立てていただくことと、11月16日(土)中央公民館で「第五十四回敬老会」が行われました。

常葉雅文町長や佐野喜平町議会議員長からお祝いのことばがのべられた後、歌謡曲・漫才・浪曲の演芸大会に入り、会場はお年寄りの元気な笑声などいっぱいでした。

ちなみに、町の七十歳以上のお年寄りの人口は、富士川地区が八百三十五人、松野地区が三百九十七人の合計一千二百三十二人(男性五百二人、女性七百三十人)で、昨年より四十六人増えました。

なお、最高齢者の小林たみ

町の

○女性	小林 98	小山	◎88歳(米寿)を迎えられた高齢者(敬称略)
○男性	若月 90	川	
	望月 90	幸	
	佐野 90	東	
	清 96	水	
	望月 93	上	
	花田 90	山	
	森山 90	新	
	山田 90	宮	
	加藤 90	池	
	小林 96	相	
	滝 95	坂	
	田村 95	本	
	齊藤 95	富	
	天野 92	上	
	齊藤 92	本	
	清水 92	富	
	白井 92	清	
	宮沢 91	本	
	角替 90	木	
	滝 90	舟	
	齊藤 90	坂	
	○女性	○女性	
	花田 90	花	
	堀澤 90	堀	
	久保田 90	久	
	望月 90	望	
	平野 90	平	
	錦織 90	錦	
	榎本 90	榎	
	齊藤 90	齊	
	吉田 90	吉	
	松下 90	松	
	佐野 90	佐	

化・生活基盤である道路の整備促進など五項目を決議しました。また、午後には木村仁県副知事が「地域行政と議会」と題して講演を行いました。

- ◎自治功労者表彰
 - ◇芦川 清司(木島) ◇坪内 伸浩(本通四) ◇法月 寿作(南町二) ◇森木 善吉(相生町)
- ◎退任事務局長表彰
 - ◇太田 国弘(現中央公民館長)

県身障スポーツ大会(中部会場)で 出場選手全員が入賞

10月20日静岡県総合運動場陸上競技場で、「第二十三回静岡県身体障害者スポーツ大会(中部会場)」が行われました。

- ◎金メダル
 - ◇竹田千鶴子(六十歳競歩・八幡町) ◇渡辺 町子(六十歳競走・新町) ◇深沢 祐子(立幅跳・大北町) ◇望月 清(車いす六十歳競走・八幡町)
- ◎銀メダル
 - ◇近藤 猛(三段跳・東町二) ◇深沢 祐子(六十歳競走)
 - ◇渡辺 政志(円周・新町) ◇渡辺 町子(円周)
 - ◇和泉 和夫(百歳競走・南町二) ◇渡辺 政志・近藤由美子(アベック二人三脚)
- ◎銅メダル(綱引き)
 - ◇渡辺 政志、渡辺 町子、和泉 永(南町二)、和泉 和夫、深沢 祐子、市川 良子(本通一)、近藤 猛、近藤由美子(東町二)、望月 章光(本通一)



メダルを胸に
喜びの選手



演芸大会風景



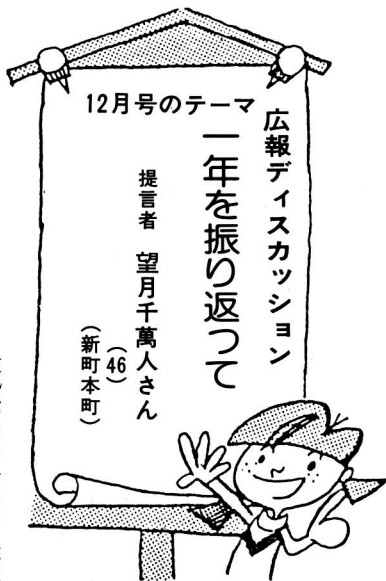
わだいの



出演者から声をかけられ
おじいちゃん緊張!

会場はおじいちゃん、おばあちゃんの笑声や笑顔でいっぱい





広報デイスカッション
12月号のテーマ
一年を振り返って
提言者 望月千鳥人さん
(46)
(新町本町)

さまざまに
体験をした一年

富士松野 植栢泰子さん(36)

私の今年の一年は、いつもとはちよつと違った年でした。それは、夫が子供の理事という大役を引き受けてきたことから始まりました。会員百三十五人の子供会の数々の行事や音頭取りが仕事人間の夫にこなせる訳がなく、当然妻である私に仕事の大半は回って来ました。日頃子どもたちに「人の嫌がることは進んでやりなさい」などと偉そうなことをいつている手前、文句もいえず「成せば成る」の精神で取り組んできました。一つの行事が終わるごとに、他の役員さんとも親しくなり、心を開放せば自ら道は開けること、一人の力では不可能なことも、

大勢が力を合わせれば可能になるということ、世相を反映してか暗い一面を子どもたちに見て、胸の詰まるような思いをしたこと、苦労が大きければ、その代償としての喜びも大きいという、家事や育児だけでは経験できない貴重な体験をさせていただきました。家庭内では娘の入院手術というハプニングもありました。

私個人としては、遅時きながら婦人バレーボール部の仲間に入れていただき、子どもたちから解放された一時を楽しむこともできるようなになりました。さまざまなことがありすぎた？一年間でした。

これからも、その時々の場合を大切に、精神的に豊かな人生を送りたいと思っています。

富士川町に転勤
一年たった今

新町本町 岡崎一男さん(36)

昨年の暮れは、まだ富士川に転勤になるなんて考えてもいず、一年たった今、「こちらは広報ふじかわです」のアナウンスにも耳慣れてしまったのが、うそのようだ。

3月に転勤してきて何よりも一番変わったことは、家族が一人増えたこと。男の子が三人。来年の今頃は、三人が家の中を走りまわることだろう。さぞにぎやかなことだろう。

第二に、木造平屋の二軒長屋。鉦路ではアパートだったので、

家の中の雰囲気はもちろん、一歩出れば外というのも違った感じだ。

第三に、ゴキブリである。鉦路育ちの私は、虫は苦手で、ましてやこちらのゴキブリには羽根がついている。他にも、ナメクジ、アリ、クモ、トカゲ、ムカデなどなど、虫のあまりいない鉦路では考えられないものばかり。もつとも、子どもたちはめずらしいらしく、「見せて、見せて」と、はえたたきでつぶされたゴキブリを見にくる。

それでも、以前富士に在住だったので、こちらの環境にもすぐに慣れた。あとは、子どもたちがひと冬越してみることだ。

わが家の
三大ニュース

相生町 山本國康さん(42)

今年のがが家の三大ニュースを紹介する。

- 一、デイズニールランド観覧
早朝四時起き、車で出発。天気もよし、こみ具合もまずまず。行く前から目ぼしをつけていた乗物にはすべて乗り、終園の打ち上げ花火までじっくり。帰りの車は、運転手以外はシ

ンデレラ姫の夢。しばらくわが家はこの話題が続いた。

二、ペン君の仲間入り
ヒゲもじゃ、どんぐり目、鼻

ベチャ、とても人間とは思えない。こんな男がわが家に住みつくことになった。彼は中国出身で日本語がまったくダメ。ただ今、手とり足とりの教育訓練中。人生で一番楽しいのは人(う)との出会い。わが家も楽しい出会いを味わった。彼の名前は「ペン」、人種は「犬」ともいう。

健康に恵まれ
充実した一年

小山 太田公子さん(88)

昭和一桁生まれの私もいつの間にか還暦を迎えるような年齢になってしまいました。数年前までは無頓着に過ごしておりましたが、足腰の痛み、新聞の文字も眼鏡なしでは読めない不自由さ、もどかしさにすっかり減入っております。人生において健康は最高の宝物である。鈴木健二アナウンサーの言葉にしみじみ考えてみるこのごろです。このような中で、この一年責任のある役を一つお受けして何とか過ごしてまいりましたが、農家の主婦の多忙さの中で時折反省し、また納得し——こんなことをくり返してはききましたが、何か目的をもって生活すること

は、明日の活力源となり楽しくもあります。また、多くの人と人との出会い、そして、その和の大切なことも知り得ました。私の人生において大きなプラスになったと思うのです。また今年、何よりも私の心をなごませてくれたのは初孫の成長ぶりでした。満一歳になりましたが、何にでも挑戦し、男の子らしい活発さをみせます。その笑顔のあどけなさに自分の老いていくのを忘れて喜びにひたつています。こうしてこの一年、何んとか健康に恵まれ、私なりに充実した日々を送ることができました。いつの日も自分のおかれた環境の中で、自分なりの前むきの生き方をしたいと思いつながら過ごしてまいります。

高校生活で
学び得たこと

八幡町 稲葉昭子さん(7)

私にとってこの一年は、すべてが新鮮でもとも充実した日々だったように思います。「疾病に苦しみ悩んでいる人々の援助を」という気持ちから看護婦という職業を選び、今年の4月から病院実習として臨床の場に立ち、実際に人間の生を看、そして、死を受容した人を看、色々な患者さんと接することにより、自分自身の未熟さ、人間関係の難しさ、また、一人

前の看護婦として働くことの責任感など肌で感じ、痛感しました。

実習も終え、今までは違った私なりの看護に対する考えも持てるようになり、看護婦を志す者として、また私自身一人の人間としても大きく成長したように思います。教えられたことをただ漠然とするのではなく、より深く学び確実に自分のものとしていく姿勢が大切であるということを経験し、私には忘れない年だったと思います。

家族がふえて……

堺町 橋本嘉子さん(32)

今年には去年生まれた次男のお陰で、例年にも増してあつという間に過ぎてしまったような気がします。もちろん、いろいろなことがあったはずなのです

が、過ぎ去ったことにはあまり執着しない性格なので……早い話が忘れっぽいということでしょうか。

そういえば、4月に長男がピッカピッカの一年生になりました。毎年見に行っている運動会で、やっとうちの子にも声援が送れるようになったのです。

1月のテーマ
年男・年女
ことしのほうふ



望月 淳くん
1小五年
(相生町)

来年は、ぼくが生まれたトラ年です。ぼくにっては、小学校最後の六年生になる年でもありません。

中学校になると、部活動や勉強で、すごいそがしくなりそうなので、来年は思いきり遊ぼうと思っています。いつもは時間もおすくなくてしかられることが多いので、時間は守りたいと思います。それから、勉強もがんばるつもりです。

ぼくは、お母さんに「淳は、トラ年生まれだから、お兄ちゃんとからべて、あばれんぼうでけが多くてこまるね」と、手や足にけがをするたびにいわれます。どうして、

お兄ちゃんにはけがをしないのに、ぼくばかりけがをするのかなと思います。けがをしない遊びを今年はずりつもりです。それから、ぼくの大ききな阪神タイガースが、来年も優勝してくれるといいなあと思っています。



- ◎1月号のテーマ
「年男・年女
ことしのほうふ」
- ◎字数
四百字づつ原稿用紙一枚以内。
- ◎締切日
12月19日(木)まで
- ◎投稿先・問合せ
富士川町役場総務課
岩淵1番地
- ◎注意事項
匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切日までに投稿してください。

ママさん記者が取材中



フォーク村「てんとう虫」

もうすっかり冬景色の富士山がくっきり見え、小春日和の11月19日、私たち広報モニターはフォーク村「てんとう虫」の浦田雅史村長さん(官町)のお宅を訪問し、てんとう虫の活動内容などについてお話をうかがいました。

フォーク村「てんとう虫」は今から十四年前の昭和46年、年齢をこえ老若男女が一緒になり気軽に詩を歌おうという目的で結成されました。結成当時メンバーは三人でしたが、現在は十人地道な活動をしています。途中結婚などの理由により、このグループをぬけられた人を含

めると、延べ三十人位の人たちが活動してきました。活動を始めてから七年間は宇多利児童館を拠点として、その後五年間は小山の空屋を借用して拠点とするなど、活動拠点は二回かわりましたが、三年前から浦田さんのお宅におつき、毎週土曜日練習にはげんでいます。今まで参加した活動の主なものは、全国を回り水俣病の啓発をしていた砂田明氏の「海よ、母よ、子どもらよ」の一人芝居の伴奏をしたことやピリバンとの共演、昭和54年社会体育での中央公民館建設のためのチャリティコンサート、昨年宮町公民館と富士市で行ったアフリカ難民のためのチャリティコンサート、中央公民館落成記念のヤングフェスティバル'85など数多くあります。このような活動とともに、年一回自主コンサートを開いています。今年、8月富士市教育会館で開き、二十曲程演奏したそうです。



浦田村長さんにインタビューするモニター(左から二人目)

(広報モニター 植松春子)

▼社会教育あれこれ▲

会話のうらおもて

ある人が知人宅を訪ずれ、その家の主人にみごとなつぼを見せられ、これはと思えども適当なほめことばが見つからない。そこで「これはけつこうなつぼです」と答えて「そうですかありがとうございます」といいます。つぼに関する会話はこれで終わったのである。ほめた方はその方面の知識がない。ほめられた方は色なのか形なのか焼きなのか何をほめられたのかわからないので返事のしようがなかったのである。内容の乏しい会話だが、意外にこのような会話は多いのである。「あら、どちらへ」「ええ、ちよつと」何とも奇妙な会話であるが、これでお互いはいくらも満足しているから不思議である。先述の「けつこう」という言葉も実は大変な多義語で、広く使われるわりにはあいまいである。同じようではあるが、言葉のアクセント、言い回し、その人の表情などで理解して、意図が相手に伝わるから、まことに便利であって、日本的である。それでいてむずかしい言葉である。日本語が世界に誇る美しい言葉であると同時にむずかしいといわれるのは、文字の量の多さ、言葉の豊富さ、内容の豊かさばかりでなく、言葉が感性の世界にあって、短かい言葉の中に、複雑な感情をこめて、口には出さぬが理解してほしいという切なる願いがあるからだろうと思う。

会話が単なる言葉の交換だけではなく、もっと大切な意味があるということである。

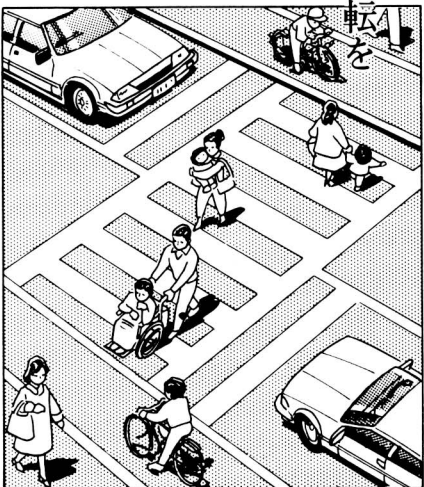
家族で話し合おう 交通安全

ゆずり合いの気持ちで運転

自転車の通れる歩道が人でいっぱいとき、自転車に乗っているあなたはどんな運転をしていますか。歩行者などにかまわず走ったりしていませんか。あまり混雑がひどいときは、自転車から降りて、押して歩くようにしましょう。

また、歩道が混雑していても歩行者の通行を妨げそうなき、つまりヨチヨチ歩きの子供やお年寄り、体の不自由な人がいるときは、必ずいったん止まりましょう。そして、歩道を通るときはいつでも止まれるよう十分速度を落として歩行者の安全を確かめるなど、心づかいを忘れないように。

道路は、いろいろな人たちが通ります。それぞれの気持ちを大切に安全に利用しましょう。



12月10日から来年1月10日の三十二日間、飲酒・暴走運転の絶滅、正しい横断の励行、シートベルト・ヘルメット着用の励行を重点目標として「年末年始の交通安全県民運動」が行われます。正しい交通ルールとマナーを実践し、町から交通事故をなくしましょう。

11月の交通事故

人身事故	8件(4)	合計	15件(7)
物損事故	7件(3)		
富士川身延線	3件(3)		
国道一号线	6件(2)		
町道	4件(1)		
県道	2件(0)		
その他	0件(1)		

()は昨年



まちの昔ばなし伝説(四)

白藤屋敷

今から四百年位以前の時代は、毎日のように血なまぐさい戦が各地で繰り広げられていました。

この頃、中之郷の川坂に、戦いに敗れた人たちが、敵の目を逃れてたどり着き、苦勞しながら細々と生活をしていました。

この人たちは、一族の主であった人が討死してしまつたので、その奥方を中心に集まつた人たちでしたので、奥方の住んだ家は大きな家で、庭には白藤が美しく咲いていました。門は円い二本の大柱の前後に二本ずつの添柱のある四足門でしたので、白藤屋敷四足門の家と呼ばれていました。

そして、数年過ぎたある日突然、落ち人狩りの者たちに攻め込まれました。不意を打たれた人たちは有り合わせの武器を取って戦いましたが、多勢に無勢のため、一人また一人と討たれ、奥方を逃がすのが精一杯で、全員討死して



しまいました。必死に屋敷を逃れた奥方は、かねてからこのような時のためにと作つてあった川坂山の洞窟に三日も潜み難を逃がれました。しかし、屋敷に戻つた奥方は、全員が悲惨な最後を見て、生きる望みをうしない自決してしまいました。主を失なつた屋敷跡には、美しい白藤だけが咲き続けたそうです。

戸籍の窓

S 60・10・15〜11・14届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄	東町一	幸町	新町本町	清水町	新町本町
木島	佐藤弘和	正博	宮崎 康	榊原昌哉	若月一雄	山本 透	若月一雄
相生町	望月 光	宏明	鈴木洋光	川島路代	池 土橋たね	佐野亮太	池 土橋たね
上町	望月和哉	則和	東町二 出雲みなみ	廣己	竹内旗静	広一	加藤晃茂
川坂	若月慶太	克巳	かきあな 望月安奈	長女	東町二 長谷川義勝	正順	宮崎 康
新町	齋藤昌也	佐重喜	八幡町 川口吉章	三男	南町一 鈴木昭平	長女	長谷川義勝
〃	池内愛恵	英司	〃 佐野麻希子	長男	南町二 若月和彦	二女	若月和彦
新町本町	岸川あゆみ	信行	〃 大石真理香	二女	八幡町 佐藤竹雄	七女	佐藤竹雄
			渡部ひとみ	長女			

かなしみ

区名 氏名 年齢

大楽窪	望月武尚	和久 長男
〃	望月直也	和久 二男
幸町	榊原昌哉	徹 長男
〃	川島路代	廣己 長女
東町一	宮崎 康	篤 三男
〃	鈴木洋光	茂美 二男
東町二	出雲みなみ	勝好 長女
かきあな	望月安奈	謹一 長女
八幡町	川口吉章	健治 二男
〃	佐野麻希子	進一 二女
〃	大石真理香	靖彦 長女
渡部ひとみ	信一	長女

お母さんの知恵袋

台所道具のクリナップ

〇焼き網にこびりついた焼きカスや鍋の黒すみつた時——
洗剤ではなかなか取れなく、物理的にゴシゴシとやるしかないと思つたら、みかんや栗などが入っている赤いネットを使つて、使用済みのアルミホイルを丸め、アルミホイルタワシを使ってみて下さい。効果バツグンです。

〇油こし器にベトベトした油污れがたまつたら——
まず、ペーパータオルで油やカスをふき取ります。次に、熱湯をかけて油分を流し、クレンザーでしっかり油分を落とし、さらに熱湯をかけると、油分や洗剤が取れてすっきりします。

〇土鍋にひびが入った時——
ひびが入つたり水が漏る時には、たつぷりの水につかみ、米を入れてトロ火でゆっくり煮ます。煮立ってトロリとしたら火を止めてそのまま冷やしておきます。ひびの中にでん粉質の粘りが入り込み水漏れを防ぎます。

〇菜箸の先が黒くなつたら——
包丁を研ぐ砥石で、またサンドペーパーでこすると良い。

富士川短歌会

十一月詠草(天野寛選)

四十九町 辻 すみじ
文化の日に寄すべく文字をととのへて式紙にえがくわが筆の跡
富士市 長橋 安子
郷里より届きし柿の荷をたくんでんでん虫の這ひ出でにけり
相生町 藤沼 満
穂芒のなびきし野路に運搬車とめおき一人昼食をとる
相生町 望月 侑子
冴えざえと晴れたる月をながめつつ明日は雨かと予報いぶかる
上町 望月 晴子
岸の緑水面にうつし柿田川砂盛りあげて湧き出ずる水
四十九町 入月 弘子
盛りなる菊をゆたかに求め来て結婚間近の子の部屋に活く
小池 土橋 節子
肌寒くあみ戸外せる足もとに馬追動かず秋暮れむとす
四十九町 塩川 恒子
ヒューストンへの出張終えし子我が為と求めくれたりシヤネル十九番
宮町 荻野 敏音
遙か来て望むソウルは村人が築きし長城に守られ栄ゆといふ
相生町 長谷川ゆり子
庭の上を一歳の汝歩き初め秋のあまねき光の中を

一里塚



今から六年前、ある方から「老人家庭奉仕員にならないか」と声をかけられ、私もちようどその頃手持ちぶさたでしたので「社会奉仕に役立つなら」と軽い気持ちで引き受けてみました。先輩や上司の教え、研修会で学んだことなどをどうにか身につけて現場に入りました。対象者とは一対一の活動のため、最初気持ちがほぐれず難しい点

もありましたが、時間をかけて心を開くように努めました。訪問開始の大切さを知ると同時に、物事一つひとつが大切で、気が練れていないと務まらないような気がしました。

現在は、社会環境の変化に伴い高齢化が急速に進み、人口構造にも大きな変化が見られるようになり、老人ホームへ入居される方も決して少なくないようです。

このような現状の中で、微力ながら老人福祉の奉仕活動の一部にたずさわる者として、更に

善意銀行へ寄託(敬称略)
S 60・8・5〜9・24
八千二百円 清水銀行
五千円 静岡銀行富士川支店
五万円 朝比奈英男(俣下町)
三千七百六十二円
円崎真樹子(富士松野)
十五万円佐藤 友济(富士見町)
五百円 ひまわり地蔵(新町)

(婦人会)